

支援を必要とする子どもたちのために

特別支援教育を推進しています

保育園や幼稚園、小・中学校に通う子どもたちの中には、集団生活や学習面で困っていて、個別の支援を必要とする子どもがいます。市は、このような子どもたち一人一人の特性に合わせた「特別支援教育」を実施しています。



△特別支援教育リーフレット

特別支援の充実のために

市は、個別の支援を必要とする子どもたちの教育ニーズに応じたきめ細かく適切な支援を行うため、次のようなことに取り組んでいます。

子どもの様子で気になっていることありませんか？

- 話を集中して聞けない
- 注意されても立ち歩く、教室から飛び出す
- かつとなって乱暴する
- 聞いたことの意味が難しい
- 話したいことを言葉でうまく表現できない
- 文字を書くことや計算が苦手
- 人の気持ちや周囲の状況を感じ取ることが苦手
- 物事に独特のこだわりがある
- 物をよくなくす、忘れ物が多い

このような様子に周りの大人が早く気づき、一人一人の特性に合わせて対応することが大切です。

- 保育園、幼稚園、認定こども園、小・中学校に支援員などを配置
- 巡回相談員・教育相談員が保育園、幼稚園、認定こども園、小・中学校を訪問し、保護者や教師の相談に対応
- ことばの指導員を配置し、保育園、幼稚園、認定こども園、小・中学校でことばの巡回指導を実施
- 特別支援教育担当者や特別支援教育コーディネーターの指導力・専門性を高めるため研修会を開催

松くい虫・ナラ枯れ被害に注意

松くい虫被害を防ぐために

本市は、松くい虫被害がまん延している高被害区域となっており、計画的に樹幹注入などの被害防止対策や被害木処理を行っています。松くい虫被害を防ぐための方法として6月から8月の間に防除薬剤の散布や、松の休眠期である11月から3月の間に行う防除液の樹幹注入があります。樹幹注入する薬液を購入する場合は、市が薬液代の2分の1を上限に補助しています。

被害木の処理

市では、松くい虫被害拡大防止を最優先とし、伐採処理を行っています。すでに枯れてしまったアカマツは所有者で処理をお願いします。

※倒れることで人身被害や施設損壊の恐れがある場合は、農村林務課または各総合支所産業係へご相談ください

ナラ枯れ被害に注意

ナラ枯れ被害とは、キクイムシ

が運ぶ「ナラ菌」が木の中で繁殖し、水を吸えなくなること



▲根元に木屑が落ちる、ナラ枯れの被害木

が枯れてしまう被害のことをいいます。被害に遭うと8月下旬から葉が一気に赤くなり枯れます。また根元に大量の木屑が発生するのも特長です。県内のナラ枯れ被害は、平成22年度以降、県南部や沿岸、秋田県境付近で発生が確認されています。本市では、まだ被害はありませんが、発見した場合は左記へご連絡ください。

- 【問い合わせ】
- ▽農村林務課 (☎24・2111内線6277)
 - ▽各総合支所産業係
 - 大 迫(☎48・2111内線168)
 - 石鳥谷(☎45・2111内線242)
 - 東 和(☎42・2111内線325)
 - ▽県南広域振興局花巻農林振興センター(☎22・4932)

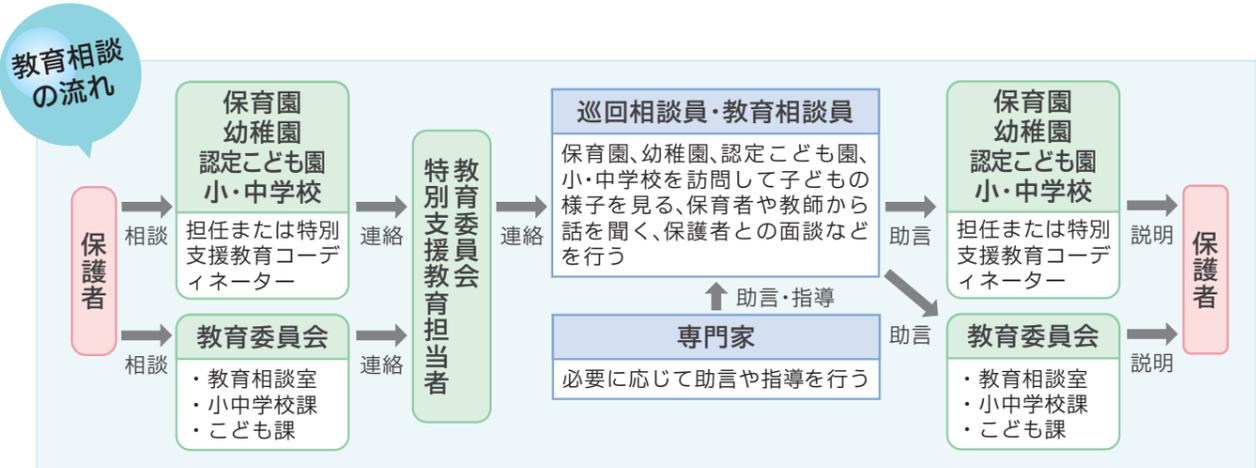
○ 特別支援教育の理解・啓発のためリーフレットを作成
※リーフレットは、各保育園・幼稚園、各小・中学校、教育委員会に備え付けています

健全な育ちを支えるために

個別の支援を必要とする子どもたちが示す行動上の特徴を、本人の性格などに起因するものと捉えず、なぜそのような行動をするのか、その背景を理解することが大切です。

子どもの様子で気になることや困っていることがある場合は、各園や各小・中学校、教育委員会にご相談ください。
※教育相談の流れは下の図の通りです

- 【問い合わせ】
- 教育委員会
 - ▼教育相談室(☎23・0260)
 - ▼小中学校課(☎45・1311内線333)
 - ▼こども課(☎45・1311内線342)



作品募集

～賢治のまちから～

全国高校生童話大賞

本市は、読む者の心に残る多くの童話作品を書いた宮沢賢治が生まれ育ったまち。好奇心と創造力にあふれた賢治の精神は、今もここ花巻に息づいています。

高校生の皆さん、あなたの心に広がる世界を童話にして、表現してみませんか。

募集内容

テーマは自由。400字詰め原稿用紙5枚以上20枚以内。高校生らしい若さあふれる斬新な童話作品をお寄せください。

※未発表で日本語の作品に限ります。応募作品は返却しません。著作権は応募者本人にありますが、出版や放送などの権利は主催者に帰属します

表彰

- 金の星賞(大賞)・・・1人
- 銀の星賞(優秀賞)・・・3人

銅賞(佳作)・・・7人
学校賞・・・2校

■募集期間 6月1日(木)～9月15日(金)

■応募資格 高校生

応募方法について詳しくは、同大賞ホームページ(「全国高校生童話大賞」で検索)をご覧ください。

昨年度は全国から1,076編の応募がありました。過去の入賞作品は、同ホームページからご覧いただけます。

【問い合わせ】
全国高校生童話大賞実行委員会事務局
(富士大学内☎23-7238)